

# みんなの本だな

4・5・6年生へ

## おとうとは青がすき

イフェオマ・オニエフル / 作・写真  
偕成社 [382オ]

わたしのおとうとは、青がすき。でも、ほかの色をしらないんじゃないかしら？おとうとにたくさんのお色をおしえてあげよう。ガリの黄色、ヤシのはっぱのみどり、チョークの白、机の茶色、ネックレスの金いろ……。アフリカのすてきな色のおはなしです。



## 絵くんとことばくん

天野祐吉 / 作 大槻あかね / 絵 福音館書店 [727ア]



おこづかいが500円ってどう思うかな？少ないとぼくは思う。どうしたらもっとあげてもらえるのか困っていたら「絵くんとことばくん」がつぎからつぎにアイデアをだしてくれた。「絵」と「ことば」をどう使ったら、自分の意見が通じるのか。ぜひためしてみてください。

## ラモーナ、明日へ

クリアリー / 作 学習研究社 [933ク]

ロバータが生まれてお姉さんになったラモーナ。4年生の新学期がはじまり、ラモーナのクラスにデイジーという新生が入ってきました。ある日デイジーのうちで遊んでいたラモーナにちょっとした事故がおこります。

今朝奇談 天狗童子 佐藤さとる / 著 あかね書房 [913サ]

およそ500年ほど昔、山奥に横笛のじょうずな与平というとしよりがすんでいました。与平が横笛をふいていると、天狗が空から飛んできて、チビのカラス天狗に横笛を仕込んでほしいというのです。そして、着ていた褌を脱がせるとチビ天狗は人間のこどもの姿になり、与平といっしょに暮らしはじめました。



ムギと王さま ファージョン / 作 岩波書店 [933フ]

ぼくのおとうさんは、エジプトのお金持ち、おとうさんの作ったムギは、黄金のようにかがやいている……。表題の「ムギと王さま」のほかに、明るくゆかいなお話や、美しい詩を読むような、心に残るお話がたくさんついています。楽しいさし絵もいっぱい。



すき 谷川俊太郎 / 作 理論社 [911タ]

すき

ゆうがたのはやしがすき  
まよってるありんこがすき  
りんごまるごとかじるのがすき  
ひざこぞうすりむくのも  
いたいけどすき  
すきなもの  
すきなこと  
ずっとすきでいたい



~すてきな詩にたくさんふれてみてください。~ 2007.7